日本バルブ工業会が創立70周年

社会インフラの維持に不可欠 バルブ通じて社会に貢献

日本バルブ工業会（会長西岡利明氏）は6日、東京・大手町の大手町サンケイプラザで第12回通常総会を開催し、同時に創立70周年記念式典を挙行した。

同工業会は1954年（昭和29年）に約100社の製造業者が結集して「日本弁工業会」を創立して発足（62年に現団体名に改称）。

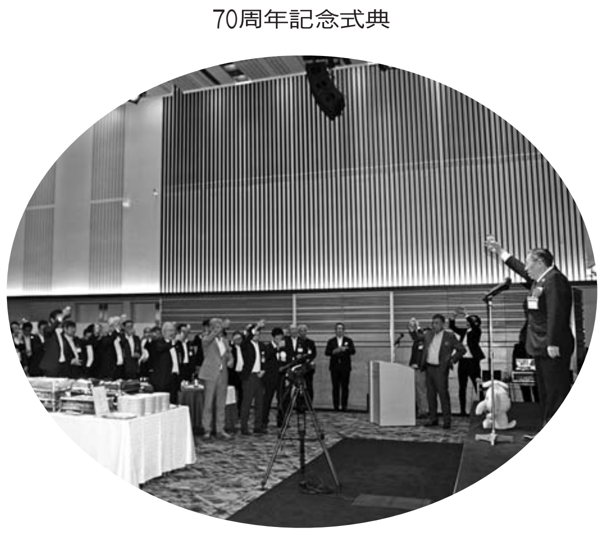
バルブ・水栓・自動弁などの各部会、人財育成・技術・安全衛生・環境・広報・バルブ技報編集、脱炭素化などの各委員会を設置して分野ごとにきめ細かい活動を実施しバルブ工業の発展振興と地位向上に力を注いできた。

近年では、バルブ女史プロジェクト（2017年、現バルブ女史ネットワーク）や若手・次期経営者のネットワーク「清流会」（19年）を組織し、女性や次代リーダーの考えを生かす施策を展開しているほか、「バルブの日」制定（3月21日）、イメージキャラクター「ばるちゃん」の作成、環境配慮バルブ登録制度の制定、勉強会「バルブ塾」実施、「バルブフォト五七五コンテスト」（現バルブフォトコンテスト）の実施など幅広い層にバルブの役割をアピールしている。

長期計画「V80」掲げ 満足度・社会的地位向上

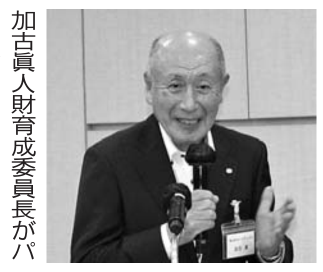
功労者表彰、記念講演など 盛大に記念式典催す

70周年記念式典


さらに発展誓い乾杯

西岡利明会長が挨拶

大石秀晴実行委員長挨拶


加古眞人財育成委員長がパネルディスカッション開会で挨拶

大山健二郎脱炭素委員長報告

前田崇統清流会会長報告

村井米男副会長が乾杯の音頭

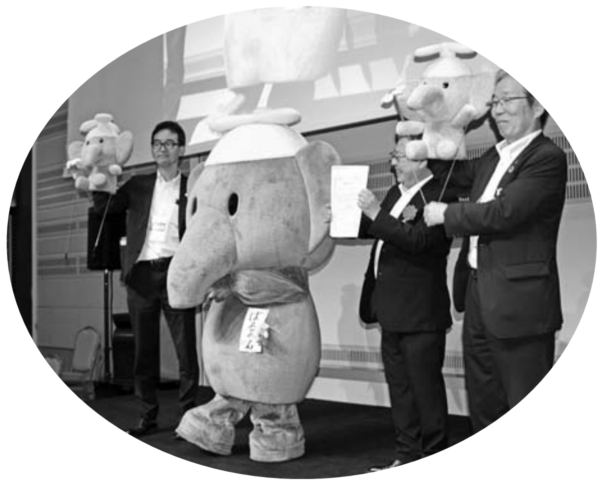
横山達也副会長が中締め

通常総会では、令和5年度決算報告を審議し可決承認し、5年度事業報告、6年度事業計画および収支予算を報告した。

引き続き創立70周年記念行事を開催した。冒頭挨拶で西岡会長は、1954年3月の創立以来、インフラ整備や街づくりにバルブ業界が寄与し、本年度入会も合わせて187社（賛助会員71社含む）の大所帯に発展したのは、会員各種の多様な分野における活躍の証と歴史を振り返った。

一方、順調なだけでなくバブル崩壊やリーマンショックなど苦しい時期もあり、それを手に手をとって乗り越えたと述べ、直近ではコロナ禍や多発する自然災害の影響をどう切り抜けるか話し合ったこともつい昨日のことと述べ、流体制御の要であり、社会インフラの維持に不可欠なバルブを通じて社会に貢献していく意欲を示した。

中締めで80周年へスタート


イメージキャラクター「ばるちゃん」も登場

工業会としては、3カ年中期計画「V70」をほぼ達成できたとし、次の創立80周年に向けた長期計画「V80」を掲げ、その第1ステージ（24～26年度）に会員の満足度向上と社会的地位向上に努めるとし、特にジェンダー問題解決と若手人材の積極的な参画を求めて工業会を盛り上げていきたいと述べ会員個々、特に女性と若手の積極的な参画を呼びかけ、創立80周年とその先に向けて全会員の力を結集して発展していくと抱負を述べた。

来賓の経済産業省製造産業局の橋本真吾審議官は、工業会の70年の歴史と発展に祝意を示し、今後のさらなる躍進に期待を示すとともに、社会・経済の変化が著しい時代にあって若年期から多方面に関心・興味を持って当たればより深く多様な知識や考え方が身に着くと若年層に呼びかけ、幅広い分野に使われているバルブの活躍のフィールドがさらに広がるよう行政として支援に努めると述べた。

橋本真吾経産省審議官が来賓挨拶

星野昌志経産省室長挨拶

若手社員によるパネルディスカッション

続いて、特別功労者表彰を行い、中村善典元会長に経済産業大臣表彰、堀田康之前会長に製造産業局長表彰が授与された。両氏は「受賞は会員および関係者の協力の賜物」と謝意と述べるとともに、今後の工業会の発展に協力していく考えを示した。

堀田康之前会長が特別功労者表彰受ける

中村善典元会長も特別功労者表彰受ける

この後、活動報告2題「脱炭素化への取り組み目標について」「社会貢献事業について」を行った。脱炭素化については、国が掲げる「CO_2排出量を2030年に2013年比46％削減」に向けて工業会として取り組んでいる状況を報告し、これまでの工業会会員の排出量を確定することが困難な状況にあるものの、多方面の実績を元に補正しながら会員社の排出量削減活動を工業会として支援していく方向性を示した。

社会貢献事業については、工業会内の若手・次期経営者の会「清流会」が寄付活動の概要と、カーボンニュートラルに着目した緑化ーの協力として愛・地球博記念公園に植樹し「バルブの森」を育てていく取り組みを紹介した。

引き続き開いた記念講演では「努力は夢を叶えてくれる」と題して落語家蝶花楼桃花氏が講演した。また、パネルディスカッション「若手から工業会への期待」も実施し、会員社から4名の若手社員が登壇し、日ごろの仕事上の悩みや日々心掛けていることを一言で表すキーワードを発表し、社内コミュニケーションや将来について意見を交換した。

この後催した70周年祝賀会で、西岡会長はパネルディスカッションの登壇者4人のような若い層が「V80」達成時に今回よりすばらしい総会や式典を挙行してくれると期待を示すとともに「バルブ工業会は意外とおもろい」と周知して活動をさらに活性化したいと述べた。

来賓の経済産業省製造産業局素形材産業室の星野昌志室長は、70周年式典について「全世代が楽しめる式典」と述べ、特にパネルディスカッションの内容を高く評価し「業界の未来は明るい、素形材産業の模範といえる」と述べ工業会の将来に期待を寄せた。

村井米男副会長の乾杯の発声で祝宴に入り、バルブ女史ネットワークが企画したエクササイズのデモンストレーションや工業会イメージキャラクター「ばるちゃん」の着ぐるみ（今式典で役割を終え今後は手踊りパペットが工業会およびバルブの周知活動を担う）の場内周回などのイベントを経て横山達也副会長が中締めを行い、80周年へ向け再スタートを切った。

70年の足跡

▽1954年（昭和29年）3月＝日本弁工業会設立▽62年8月＝日本バルブ工業会に改称▽71年1月＝日本バルブ工業会規格第1号、JV1を制定▽81年6月＝ISO／TC153／SI1、東京会議を機械振興会館で開催▽86年5月＝バルブ技報創刊号発行

▽2000年5月＝若手社員研修会実施（現・バルブ初級研修＝18年7月～）▽04年3月＝創立50周年を記念し募集した工業会のロゴマーク登場▽09年＝節湯／節水水栓に関する定義と基準を工業会として自主的に作成▽同年5月＝3月21日を「バルブの日」と制定

▽10年5月＝バルブのイメージキャラクター「ばるちゃん」誕生▽14年5月＝創立60周年祝賀会をパレスホテル東京で開催。同時に記念イベントとして「学生懸賞論文コンテスト」を実施

▽16年11月＝環境配慮バルブ登録制度を制定▽17年4月＝中期活動計画V2020「～信頼され成長するバルブ産業へ～」を策定（17～20年度）▽同年11月＝「ばるちゃん」でゆるキャラGPに出展（18年にもエントリー）▽同年12月＝バルブ女子プロジェクト発足（現・バルブ女史ネットワーク＝21年11月～）

▽18年9月＝国際水協会・IWA展示会に出展▽同年10月＝海外視察としてベトナムを視察（以後、19年6月に上海KBC、同年9月にイタリアへもそれぞれ視察）▽19年3月＝バルブ塾発足▽同年6月＝清流会発足▽21年4月＝中期活動計画V70「All for Society～社会を支えるバルブ産業の更なる進化のために～」を策定（21～23年度）▽23年4月＝脱炭素化委員会発足。

創立70周年に寄せて

新中期活動計画「From now 70th」が始動

西岡利明会長

日本バルブ工業会は、お陰様を持ちましてこの3月21日に創立70周年を迎えました。

これもひとえにバルブ産業発展のため、ご尽力頂きました全ての方々の努力の賜物だと感謝申し上げます。

結成当初の先人達、それを受け更なる発展にご尽力いただいた諸先輩の方々、そして今現在お忙しい中、時間を割き工業会活動にご尽力いただいている現役世代の方々。皆様大変ありがとうございます。重ねて感謝申し上げます。

また、皆様方のご協力の下、この3月末を持ちまして中期活動計画『V70』も当初計画をほぼ達成することができました。それを受け、この4月より新中期活動計画『From now 70th』が始まっています。

それは『V80』長期活動計画の礎とし、次なる80周年に向け、日本バルブ工業会が更なる素晴らしい団体へと羽ばたく序章になれればと思っています。是非皆様、旧に倍しましてのご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

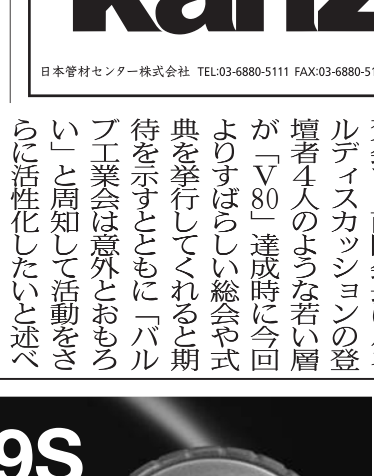
我々日本バルブ工業会は、社会インフラの要として、流体制御を司り人々の暮らし・社会活動の安全安心をお届けしています。その活動範囲は広く、航空宇宙産業から住宅産業まで、ありとあらゆるインフラ産業に関連しています。バルブ部会・自動弁部会・水栓部会と業界的にも多種多様に網羅しており、人々の暮らし・社会活動をあらゆる側面から手助けする商品・サービスを提供することにより社会貢献しています。

我々の商品・サービスは、日本国内のみならず世界各国へとその活動範囲を広げてきました。日本品質の素晴らしさは、世界の方々からも支持を得て益々その販路を拡大しています。人々の幸せが我々日本バルブ工業会のメンバーの幸せに繋がるからこそ、真摯なものづくりに徹しなければなりません。

今後も我々の商品・サービスにより、人々の素晴らしい人生の一助に成れれば、そんな嬉しいことはないと思っています。

最後になりますが、日本バルブ工業会の益々の発展と皆々様のご健勝を心よりご祈念申し上げ、創立70周年感謝の挨拶とさせていただきます。

つくる人に最適を。くらす未来に快適を。
kanzai
日本管材センター株式会社 TEL:03-6880-5111 FAX:03-6880-5115 https://www.kanzai.co.jp/



S-K101LCシリーズ
ステンレス製逃し弁
液化ガス用逃し弁として
NKによる使用承認
（IGCコード及びIGFコード）を取得
S-K179S
警報接点付フロートゲージ
見やすいダイヤル表示
シンプル構造、簡単取付
小さい、軽い、高耐久
これまで培ってきたノウハウと
先進の技術を駆使し
あらゆる要望に即応してまいります
自動制御バルブ総合メーカー
高圧ガス設備製造認定事業所
SK 株式会社 三協製作所
本社：大阪市西区北堀江1丁目5-2（四ツ橋新興産ビル702号）
TEL.06（6541）9081 FAX.06（6541）9098
工場：富田林市若松町東3丁目4-8
TEL.0721（24）1107 FAX.0721（24）1108
東京：TEL.03（3276）5471
URL：https://www.sankyo-s-s.co.jp

SANEI
繰り返しの洗濯で実感!
洗い残しに差が出る!
FB洗濯機用送り座水栓
Y1433T6V
Y1433T6K(寒冷地仕様)
ウルトラファインバブル搭載
SANEI株式会社 www.sanei.ltd
本社/大阪市東成区玉津1丁目12番29号
TEL(06)6972-6981 FAX(06)6972-5929